



ぐるべー



◆<http://www.city.kodaira.tokyo.jp>
トップページ「子ども・教育」-「教育委員会」-
「教育行政資料(教育目標、各種会議録・報告書など)」

編集・発行
小平市教育委員会教育総務課
〒187-8701
東京都小平市小川町2-1333
小平市役所5階
TEL 042(346)9568

小平第三中学校吹奏楽部表敬訪問

小平第三中学校吹奏楽部が、10月22日(土)に名古屋国際会議場で行われた第70回全日本吹奏楽コンクールで、金賞を受賞しました。
11月24日(木)に市長、教育長を表敬訪問しました。



小平第三中学校吹奏楽部

中学校生徒 部活動成果報告会

市内中学校生徒が夏休み期間中などに各地で行われた大会に参加し、すばらしい成果を収めました。
11月7日(月)に、各中学校から生徒の代表者が市役所を訪れ、市長、教育長に成果を報告しました。
主な大会出場結果は右表のとおりです。



全国・関東大会出場生徒

(学務課)

学校名	大会名	出場部・者	結果
小平第二中学校	第49回全国中学生テニス選手権大会	男子テニス部 藤原 友紀 (2年) 金子 颯良 (2年)	団体 ベスト16 男子ダブルス ベスト8
	令和4年度 第75回関東中学生テニス選手権大会 兼第2回関東中学校体育大会テニス大会	男子テニス部 藤原 友紀 (2年) 金子 颯良 (2年) 近藤 海里 (3年) 櫻井 歩 (3年)	団体 第5位 男子ダブルス 第3位 女子ダブルス 出場
	第46回関東中学校水泳競技大会	西村 光惺 (1年)	男子200m個人メドレー 第3位
	令和4年度 第53回関東中学校バドミントン大会	男子バドミントン部 下野 仁輝 (3年) 本橋 幹大 (3年) 甲斐 光 (3年) 佐藤 隆一郎 (3年)	団体 出場 男子ダブルス ベスト8 男子ダブルス ベスト16
小平第三中学校	第70回全日本吹奏楽コンクール	吹奏楽部	中学校の部 金賞
小平第四中学校	第49回全日本中学校陸上競技選手権大会	田玄 呼次郎 (3年)	男子3000m 第18位
	第49回全日本中学校陸上競技選手権大会 第50回関東中学校陸上競技大会	高崎 颯太 (3年) 高崎 颯太 (3年)	200m 出場 200m 第7位
花小金井南中学校	第46回関東中学校水泳競技大会	廣瀬 莉智 (3年)	男子50m自由形 第4位

※敬称略

今年も「なかまちテラス」にイルミネーションが点灯しました



職業能力開発総合大学の協力のもと、今年もなかまちテラスにイルミネーションが点灯しました。今年の文字は「礼」です。毎年見に来ていただいている地域の皆様、制作に協力をいただいている方々への感謝を込めての一字です。来年2月末頃まで、午後5時から10時まで点灯しています。(第3木曜日と年末年始を除く)

小平市立学校周年行事

今年度は、小平第七小学校が周年行事を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、規模を縮小して開催しました。ご協力いただきました保護者や地域の皆様に心から感謝申し上げます。

開校60周年を祝う会 10月29日(土)開催



ポスターを作成しました

コロナ禍の今だからこそ、自分を大切に、そして自分以外の人を大切にしたいとの願いを込めて、子どもたちに伝えたいことをまとめたポスターを作成しました。

これまで各学校では、いじめや偏見、差別が生じないように子どもたちに指導していますが、引き続きお互いを認め合える関係づくりに努めます。

ポスターは各学校に掲示しています。また、「小平市立学校版感染症予防ガイドライン(新型コロナウイルス感染症)」の内容を見直しました。詳しくは、市ホームページをご覧ください。



スマートフォン用
(指導課)

教育委員会 委員就任

令和4年10月31日をもって任期満了となった山口有紀子氏の後任として、11月1日に望月克浩氏が教育委員会委員に任命されました。
任期は令和8年10月31日までの4年間です。



望月委員挨拶

小平にご縁をいただき、15年が経ちます。

移り住んだ数年間は、仕事で家を空けることも多く地域との関わりが少なかったために、家族以外の知り合いが一人もおりませんでした。子どもの誕生を機に小平市が子どもたちの故郷と呼べるためには、自身が住む地に関心を持つことが必要だと考え、一般社団法人小平青年会議所にて地域活動に参加させていただきました。活動を通して地域との繋がりもでき、小平市について多くのことを先輩から教えていただきました。

現在では私も小学校六年生と小学校一年生の子どもを持つ親となり、何不自由なく安心して子育てができる小平市に対して、故郷の様に愛着を感じています。

昨今、子どもたちが成長する中で将来に夢を持ち、実現させるために少しでも役に立ちたいという思いから将来設計の授業を行う機会をいただきました。子どもたちが真剣な眼差しを向けている姿は何物にも代え難いものです。

小平市の人口は年々増加し、20万人に到達する程となりました。これは都心へのアクセスも良く、緑も多く子育てしやすい環境が揃っている魅力ある都市であるからだと感じています。私たちもいつか歳をとり、次の世代にバトンを渡していきます。バトンを渡す側の者として小平市の未来を創る子どもたちに教育委員として少しでもお役に立てる様、誠心誠意努めてまいります。